

モデルビルの概要

ビル名称	MID日本橋堀留町ビル
所在地	中央区日本橋堀留町一丁目7番7号
施工	白石建設株式会社
設計	株式会社ARIS 総合計画
事業者等	関電プライベートリート投資法人 関電不動産投資顧問株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
竣工	1991年2月
建物構造	SRC造等 地上8階地下2階
延床面積	3,279.77㎡



CO2排出実績(2022年度実績)

CO2排出量※

143 t

※燃料等の使用に伴う排出量

CO2排出原単位※

43.6 kg-CO2/㎡

(143t ÷ 3279.77㎡ × 1,000)

※延床面積(㎡)あたりのCO2排出量

都の低炭素ベンチマーク（テナントビル(オフィス系、中規模)）上で
「**A3+**」のレンジに属する、CO2排出原単位の優れたビルです。

テナントビル(オフィス系、中規模)の低炭素ベンチマーク(2012年度実績版)

レンジ	平均値に対する比率	CO2排出原単位 (kg-CO2/㎡) の範囲		事業所数	事業所数 の割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下		41.6 以下	52	6.8%	5,473
A3+	0.55超 - 0.60以下	41.6 超	45.3 以下	19	9.3%	4,997
A3	0.60超 - 0.65以下	45.3 超	49.1 以下	19	17.2%	5,580
A3-	0.65超 - 0.70以下	49.1 超	52.9 以下	33		5,872
A2+	0.70超 - 0.75以下	52.9 超	56.7 以下	33		5,576
A2	0.75超 - 0.80以下	56.7 超	60.4 以下	47	23.1%	5,445
A2-	0.80超 - 0.85以下	60.4 超	64.2 以下	51		5,604
A1+	0.85超 - 0.90以下	64.2 超	68.0 以下	58		5,580
A1	0.90超 - 0.95以下	68.0 超			18.6%	
A1-	0.95超 - 1.00以下	71.8 超				
B2+	1.00超 - 1.05以下	75.5 超				
B2	1.05超 - 1.10以下	79.3 超			16.5%	
B2-	1.10超 - 1.15以下	83.1 超				
B1	1.15超 - 1.50以下	86.9 超				
C	1.50超	113.3 超			8.4%	

省エネルギー対策の取組状況

目標・方針

事業者等の資産運用会社において、「サステナビリティ方針」及び「サステナビリティ推進規程」に基づき、サステナビリティ推進計画を策定するとともに、定期的にサステナビリティ推進委員会を開催し、一体となってサステナビリティへの取り組みを推進している。保有物件における再生可能エネルギーの導入拡大を順次検討するとともに、太陽光パネルで発電した電力を館内の共用部照明に利用や照明のLED化を推進し、電力使用量の削減に取り組んでいる。

主要設備等

使用電力	契約電力：500kW未満 再エネ100%	昇降設備	エレベーター2基
空調設備	個別空調		
換気設備	全熱交換器設置		
照明設備	LED照明等		

地球温暖化対策の実施状況

組織体制の整備等

テナントにエネルギー使用量提供

…請求書に水光熱使用量の実績を記載し提供

使用量に応じた料金体系等の採用

…個別メーターにより計量、使用量に応じた請求を実施

エネルギー使用量の前年度比較

…中長期的な削減に向けて、使用量実績の集約及び分析を実施

等



【エレベーター室換気扇（温度制御）】

運用・設備保守対策

共用部照明のフロアごとの管理

…入退館時に照明の点灯消灯を行うようテナントへ協力を依頼

照明スイッチに点灯範囲を表示

…省エネ推進活動の一環としてテナントへ周知

空調フィルターの清掃・点検

…パッケージエアコンのフィルター交換・清掃を年3回実施

等



【室外機（屋上）】

設備導入対策

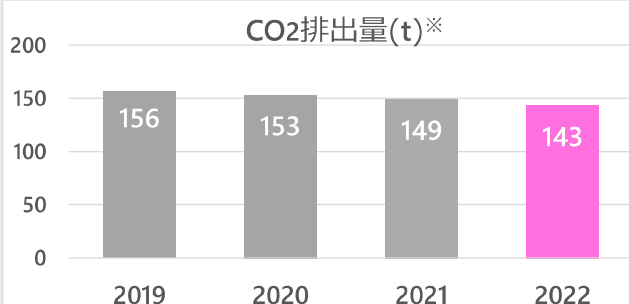
高効率照明器具の採用

…共用部に関しては、LED化を実施済
専有部に関しては、毎年2フロアを目安にLED化を実施



【LED照明】

CO2排出量の推移



- 2019年度と比較して約8%の削減

- 照明のLED化や、入居テナントの理解及び協力により、上述の地球温暖化対策を着実に実施、CO2排出量が継続的に削減されている。

※燃料等の使用に伴う排出量